



低處高思

～自ら啓き 未来を拓く～

令和5年12月26日

発行 北垣内 博

鬼気の構えで、本気になれたか？2学期終業

季節は「夏模様」から「冬景色」へと、約束通りにその折々の姿を変えて、私たちにみせてくれました。この間、私たち一人ひとりそれぞれが目標に向かい、もう一人の自分と心密かに交わした約束を果たすことができたか、振り返りたいと思います。約束は、すべて自分自身の問題であるからこそ、自分の生き方を問い質すことにもなります。

登校日数85日の2学期が本日をもって終業となりました。生徒、職員一人ひとりが本日の終業式を迎えられたことを何よりも嬉しく思っています。きっと意義のある2学期だったのではないのでしょうか。この勝負の2学期が始まる時、生徒に「鬼気の構え」で「本気になる」ことを心に刻んでおこうと話しました。それを評価できるのは生徒自身でしかありません。

私は、3年生を中心に見事に約束を果たした学友会活動を思い出します。コスモス祭をきっかけにし、中込中学校が全ての人にとって心ゆく場となるよう、学級・学年、全校と目的に応じて様々な活動に取り組みました。人、もの、コトのつながりを感じる2学期だったと感じています。

しかし、世界ではウクライナでの戦争、パレスチナ問題で人々の尊厳を無視した人権問題が今尚、想像を絶する多くの人々を悲しみのどん底に追いやっています。国内においても心ない人々の言葉や対応によって大切な命を落としてしまう事故が後を絶ちません。この世の中に、暴力をもって解決したことなど一つもありません。それが世界であっても、国であっても、そして個人であっても、暴力を受けた側はもちろん、暴力を振るった側も、みんな傷つき、悲しみ、不幸になっています。

私たちは全校で「笑顔があふれ、学びと活動がある学校」づくりに励んでいます。すべての仲間の笑顔のために言葉によるものも含めた暴力やいじめを決して起こさないことを改めて確認したいと思います。「鬼気の構え」で、本気の2学期を創り上げてきた生徒たちですから、必ず実現できると信じています。

最後に、保護者、地域の皆様にも感謝の思いをお伝えし、新年がよい年でありますように祈りたいと思います。ありがとうございました。

つながり、つなぐ学友会 バトンタッチ！

学友会の中心が3年生から2年生へと引き継がれました。今年度の学友会活動は、自身を含む全ての人々を温かい気持ちにしたいとの願いを込めたスローガン「Act for people! ～思いやりからつながりへ～」のもと、生徒同士や職員、地域の皆さんをつなぐ活動を展開してきました。秋桜祭や地域清掃活動（ASNプロジェクト）を中心として、目的を達成できたと考えています。

私は、中込中学校が全ての人にとって、「Well-Being」な場所であり、心ゆく場でありたいと思っています。今後、現2年生が中心となり、学友会を創ってきた先輩の思いをしっかりと受け継ぎ、新たな学友会が創られていくことを楽しみにしています。

